

金鶏山

金鶏山は、俳諧師の松尾芭蕉（1644-1694）が北日本を旅した際にもまた注目を集めました。「奥の細道」と題された旅行記で、彼は平泉の失われた栄光について深く思慮し、金鶏山はその過ぎ去った時代の唯一の名残であると書き残しました。

1930年代に山から出土した経典の容器は、現在東京国立博物館にあります。

2005年、金鶏山は国の史跡に登録されました。2011年に平泉は世界遺産に登録されました。